

令和6年第29回定例公安委員会会議録

開催日時 令和6年10月10日（木）午前11時10分～午後2時25分

開催場所 警察本部

第1 定例会議

1 開催時間 午後1時30分～午後2時18分

2 出席者

公安委員会 勝部委員長 久本委員 笠田委員

警察本部 森本警務部長 宮田首席監察官 細田生活安全部長
前田刑事部長 山本交通部長 樋口警備部長
濱本警察学校長 坂口情報通信部長 福本境港警察署長
吉村警務部参事官

（事務局等～岩城公安委員会補佐室長、総務課員）

3 議題事項

4 報告事項

- 懲戒処分等の状況及び随時監察の実施結果（令和6年度第2四半期）（警務部）
- 第56回鳥取県交通安全県民大会の開催（交通部）
- 「第36回全国健康福祉祭とっとり大会（ねんりんピックはばたけ鳥取2024）」開催に伴う警衛（警備部）
- 境港警察署の取組（活動）状況（境港警察署）

（1）懲戒処分等の状況及び随時監察の実施結果（令和6年度第2四半期）（警務部）

警察本部

警察本部から、令和6年度第2四半期の懲戒処分等の状況及び随時監察の実施

結果について報告があった。

委員

随時監察の実施結果について報告していただいたが、駐在所の近くに住んでいる園児が来所することがあり、園児に喜んでもらうためパトカーの玩具を並べておられるとのことであった。きめ細かな対応であり、地域住民に密着した心配りが大変素晴らしいと思う。

職員の身上把握、身上指導の実施について、忙しい中であると思うが、時間を見つけて適切に実施していただきたい。

委員

懲戒処分がなかったとのことであり、非常によいことである。懲戒処分事案が発生し、懲戒処分に関する情報がSNSで拡散することは、県民にとっても嫌なことだと思うので、引き続き発生がないようお願いしたい。

交番・駐在所の監察結果が良好であったということだが、交番・駐在所は地域安全の拠点であることから、大変有り難い。親しみのある交番づくりにも力を入れていただいているとのこと、素晴らしいと思う。一方で、執務室において、書類や物品が整然としていない部分があったとのことなので、改めていただきたい。

随時監察をしっかりと行っていくことが、抑止力につながると思うので、今後もしっかりとした監察をお願いする。

委員

交番・駐在所は、特に地域住民の目に触れる場所であり、親しみやすい雰囲気をつくられている点が素晴らしいと思った。

非違事案を防止する上で、面談を行うことは重要だと考えている。職員同士がしっかりとコミュニケーションを取っていただきたい。

(2) 第56回鳥取県交通安全県民大会の開催（交通部）

警察本部

鳥取県交通安全県民大会は、県下の交通安全功労者及び優良運転者の表彰を行うとともに、交通安全に関する講演等を行うことにより、県民の交通安全意識の更なる高揚と、交通事故を防止することを目的として開催している。

本年は、10月25日に米子市淀江文化センターで開催する予定であり、参加予定者は約500人を見込んでいる。大会では、展示・体験コーナーを設け、安全運転サポート乗用車体験のほか、シートベルト着用体験車によるシートベルトの効果体験、ポスター展示、パトカー・白バイの展示、交通安全教育機器による認知・判断・行動のチェックなどを行う。

式典では、米子高等学校美術部と啓成小学校による合同制作アート作品の披露、株式会社ステップ総合研究所所長清永奈穂氏による「こどもの視点に立った交通安全教育と瞬間見守り対策」についての講演、境港交通安全レディースクラブによる交通安全講習、警察音楽隊による演奏、大会決議等を行う。

本大会の開催を通じ、県民の交通安全意識の更なる高揚を図り、交通事故防止につなげていきたいと考えている。

委員

鳥取県交通安全県民大会を開催し、県民の交通安全意識の高揚に努めるとのことであり、よい大会となるよう祈念している。

委員

式典では、高校生、小学生を巻き込んだ活動をしておられ、大変有意義だと思う。交通安全功労者について、日々通学路に立ち、子どもたちの安全を見守ってくださる方々がおられてこそ、地域の安全が守られるので、そんな方々に対して、盛大な表彰を行っていただきたい。

本大会を通して、県民の交通安全が高揚する有意義な大会にしてもらいたい。

委員

日頃から、地域の交通安全を見守ってくださる方がおられ、大変有り難い。一方で、この当たり前となっている見守り活動が突然なくなってしまったらどうなるだろうかと不安に感じることもある。交通安全県民大会を通じて、地域の交通安全を見守ってくださっている方々に、活動を継続していただけるような環境づくりを推進していただきたい。

県民が交通安全を意識しなければならないと感じる大会になると思うので、今後も継続して実施していただきたい。

(3) 「第36回全国健康福祉祭とっとり大会（ねんりんピックはばたけ鳥取2024）」開催に伴う警衛（警備部）

警察本部

10月18日及び19日、三笠宮彬子女王殿下の「第36回全国健康福祉祭鳥取大会（ねんりんピックはばたけ鳥取2024）」総合開会式への御臨席及び地方事情御視察のため、警衛警備を実施する。

委員

ねんりんピックの開催に伴い、来県者が多くなることが予想される。県警察として、2日間の警衛警備に万全を期していただきたい。

(4) 境港警察署の取組（活動）状況（境港警察署）

境港警察署

境港警察署長から、特殊詐欺被害防止活動、管内コンビニと警察署とのネットワーク構築、自転車安全運転推進リーダー委嘱、テロ対処訓練について説明がなされた。

委員

特殊詐欺被害防止活動について、巡回連絡強化期間を設定し、境港警察署管内の60パーセント以上の世帯を訪問され、特殊詐欺の手口や対策を説明されたとのことであった。特殊詐欺に関しては、被害者にならないことはもちろんであるが、闇バイトなどを通じて犯罪者側になってしまうことを防止していかなければならないと感じている。将来ある若者が重要犯罪に手を染めてしまわないように、対策をお願いしたい。

管内コンビニと警察署とのネットワーク構築について、各種犯罪・事故等の被害防止に貢献する、よい取組であると思う。地域との連携は重要であるので、しっかりと推進していただきたい。

自転車安全運転推進リーダー委嘱について、自転車に乗車する機会の多い高校生に委嘱し、自転車利用時の交通安全利用の機運を高めていくとのことであり、大変すばらしい取組である。

テロ対処訓練について、境港は、鳥取県内の他の地域と比べ、国際的な市であり、クルーズ船が非常に多く寄港しており、必要な取組であると思う。

委員

特殊詐欺被害防止に関しては、ニュースやチラシ等の広報媒体を活用し、積極的な広報を推進していただいているが、なかなか自分事として捉えられず、被害に遭う場合があると把握している。そのような中で、管内の巡回連絡をされているということで、大変な労力ではあるが、特殊詐欺防止には非常に有効な手段であると感じる。併せて、管内コンビニと警察署とのネットワーク構築についても、特殊詐欺被害の防止に大きく役立つと思う。

自転車安全運転推進リーダーの委嘱について、人から言われて行動に移すことは継続性がないが、高校生に推進リーダーを委嘱することにより、学生自らが自転車安全利用について考え、行動し、機運を高めていくという、有意義な活動であると思う。

テロ対処訓練について、境港は外国との往来に際し、大きな玄関口となっている。今後も是非、地域を巻き込んでの訓練等を継続していただきたい。

安全・安心のために、様々な取組をされているとのことであり、今後も継続的にお願いしたい。

委員

自転車安全運転推進について、学生を巻き込んだ活動を実施していくことは非常に有効であると感じた。同様に、特殊詐欺被害防止に関しても、学生が闇バイトに手を染めてしまわないよう、協働した活動を今後も実施していただきたい。

テロ対処訓練について、境港は外国との窓口となっており、必須の訓練となっていると思うので、県民の安全・安心のためにも引き続き実施をお願いしたい。

第2 その他の公安委員会活動

1 意見の聴取

運転免許課から、道路交通法に基づく意見の聴取2件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

2 聴聞

3 事前説明

4 報告事項

- ・ 監察報告
- ・ 行政不服審査法における審査請求の受理について

5 決裁

6 公安委員会委員間の事前検討・協議等

7 公安委員会補佐室からの事務連絡等

公安委員会補佐室から当面の行事予定等について確認と説明があり、了承した。